

泌尿器科専門医研修ネットワークプログラム



(米国 Intuitive Surgical 社製「da Vinci Xi Surgical System」(ダヴィンチ Xi) : 浜松医科大学)

1. プログラム統括者からのメッセージ

プログラムリーダー 浜松医科大学医学部泌尿器科学講座准教授 三宅秀明

泌尿器科専門医は小児から成人に至る様々な泌尿器疾患、ならびに我が国の高齢化に伴い増加が予想される排尿障害、尿路性器悪性腫瘍、慢性腎疾患などに対する専門的知識と診療技能を持ちつつ、高齢者に多い一般的な併存疾患にも独自で対応でき、必要に応じて地域医療との連携や他の専門医への紹介・転送の判断も的確に行える能力を備えた医師です。泌尿器科専門医はこれらの診療を実践し、総合的診療能力も兼ね備えることによって社会に対する責務を果たし、地域医療にも配慮した国民の健康・福祉の増進に貢献します。

本プログラムは、拠点施設である浜松医科大学附属病院において高度な医療に携わり本邦の標準治療や先進的な医療を経験し学ぶとともに、地域医療を担う連携病院での研修を経て静岡県内の医療事情を理解し、将来は泌尿器科専門医として静岡県全域を支える人材の育成を行う理念に基づいています。

2. 到達目標

専攻医は泌尿器科研修プログラムによる専門研修により、「泌尿器科医は超高齢社会の総合的な医療ニーズに対応しつつ泌尿器科領域における幅広い知識、錬磨された技能と高い倫理性を備えた医師である」という基本的姿勢のもと、

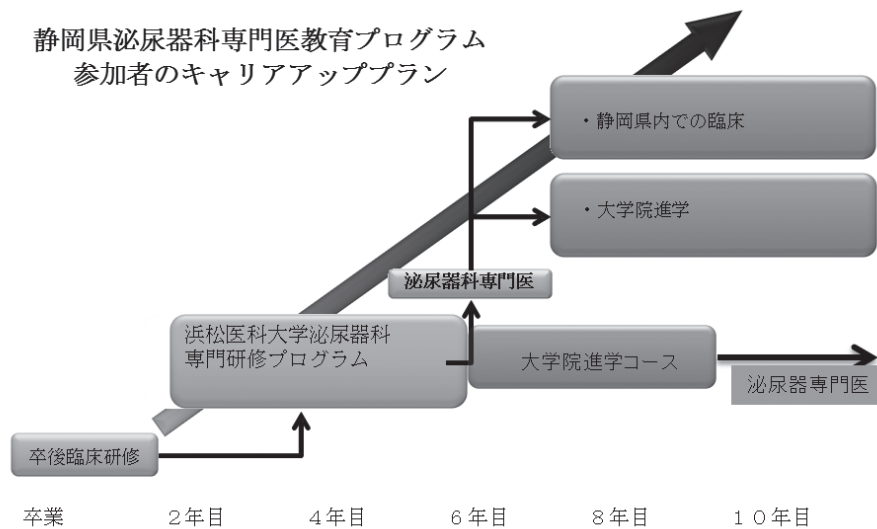
1. 泌尿器科専門知識
2. 泌尿器科専門技能: 診察・検査・診断・処置・手術
3. 継続的な科学的探求心の涵養
4. 倫理観と医療のプロフェッショナリズム

の4つのコアコンピテンシーからなる資質を備えた泌尿器科専門医になることを目指します。また、各コアコンピテンシーにおける一般目標、知識、診療技能、態度に関する到達目標が設定されています。

3. プログラムの特徴

浜松医科大学泌尿器科専門研修プログラムは浜松医科大学附属病院を中心としたいくつかの診療拠点病院と地域医療を担う地方中核病院、および専門研修に有用であると思われる研修協力病院の3群から構成されています。泌尿器科専門医に必要な知識や技能の習得と同時に、地域医療との連携や他の専門医への紹介・転送の判断も的確に行える能力を身につけることができるよう配慮しました。学術的な涵養を目的とした大学院進学コース、専門研修後にはより高い臨床実施能力の獲得を目指す臨床修練コース、静岡県などの奨学金貸与プログラムにおける地域医療での義務年限を前提とした地域医療枠コースの3つから選択していただきます。

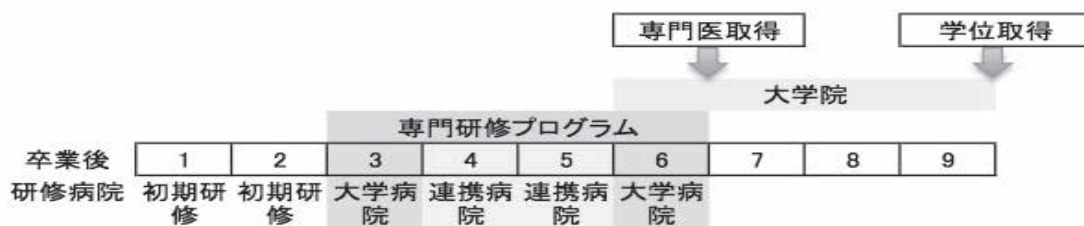
4. 研修方法



浜松医科大学泌尿器科専門研修プログラムでは4年間の研修期間のうち初年度を拠点教育施設(浜松医科大学附属病院)で研修し、残りの3年に関しては連携施設での研修を基本としています。大学院進学コースでは4年目に大学院へ入学し研修を同時に行うことが可能です。静岡県などの奨学金貸与プログラムにおける地域医療での義務年限を前提とした地域医療枠コースも設定しています。地域医療枠コースの場合には奨学金返還条件に応じて研修病院での年限が異なるため、泌尿器科専門医取得が卒業後6年目以降となる場合がありますが、専門医取得まで本プログラムでのサポートを続けます。

(1) 大学院進学コース

大学院進学コースにおいては専門研修4年次において大学院へ入学します。病棟や外来業務は従来と同様に行うが、一方で自分の専門分野を決定し研究の準備も並行しながら行います。本コースを選択した場合は、最短で卒業後6年間で専門医の取得・9年間で学位を取得することが可能です。



(2) 臨床修練コース

臨床修練コースにおいても原則的には2-4年目を研修連携施設で研修しますが、本人の希望や研修の進み具合により2年目以降の研修先に関しては専門研修プログラム委員会で決定します。

(3) 地域医療枠コース

地域医療枠コースでは卒後3年目以降で奨学金返還義務年限に応じ、静岡県内の医療機関での勤務が義務付けられています。専門医の取得は4年間の基準施設での常勤研修が義務付けられていますので、本プログラム参加施設かつ静岡県指定の研修病院を中心に研修を行います。各人により年限など異なるため、研修委員会にて本人の都合を含め検討を行います

(4) 研修連携施設について

浜松医科大学泌尿器科専門研修プログラムに属する連携研修施設は8病院ありますが、すべての施設において泌尿器科指導医が常勤しています。この中でも病床数500床以上の診療拠点病院(磐田市立総合病院・中東遠総合医療センター・浜松医療センター・聖隷三方原病院・聖隷浜松病院)と、地域中核病院(市立湖西病院・JA静岡厚生連遠州病院)の二つに大別されます。さらに、専門連携研修施設病院として静岡がんセンターがあります。また、研修中の協力施設として静岡県立こども病院・聖隷健康診断センターとも連携して研修指導に当たります。